



今月は居宅介護支援事業所が担当いたします！

介護保険の被保険者とは

40歳以上の方は、お住まいのせたな町が運営する介護保険の被保険者です。被保険者は年齢により2種類に分かれ、65歳以上の方は第1号被保険者、40歳以上65歳未満の方は第2号被保険者となります。

介護サービスを利用できる人は？

①65歳以上の方 第1号被保険者

介護や日常生活に支援が必要となり、要支援、要介護と認定されると、介護サービスを利用できます。どんな病気やケガが原因で介護になったかは問われません。



②40歳以上65歳未満の方

医療保険加入者で、加齢に伴う疾病（※特定疾病）が原因で要支援、要介護と認定を受けたときに介護サービスを受けることができます。



※特定疾病

がん（末期）・脊柱管狭窄症・関節リウマチ・早老症・筋萎縮性側索硬化症・多系統萎縮症・後縦靭帯骨化症・糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症および糖尿病性網膜症・骨折を伴う骨粗鬆症・脳血管疾患・初老期における認知症・閉塞性動脈硬化症・進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症およびパーキンソン病・慢性閉塞性肺疾患・両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症・脊髄小脳変性症

【お知らせ】

○大成区患者バスが3月1日より事前予約制となります。バスの運行は毎週木曜日です。ご利用希望の方は前日までにご予約をお願いします。詳細はホームページ及び院内掲示をご覧ください。

○3月11日(火)15:00～16:00に当院にて公開医療講座を開催いたします。「骨粗鬆症のお話し」をテーマに当院の薬剤師と骨粗鬆症マネージャーの放射線技師がお話しします。参加は無料です。予約制となっております。ぜひご参加ください。

【皮膚科外来診療案内】

＜令和7年3月＞

日付	午前診療	午後診療
1日(土)	8:30～11:30	
14日(金)		14:00～16:00 *病棟回診後
15日(土)	8:30～11:30	
28日(金)		14:00～16:00 *病棟回診後
29日(土)	8:30～11:30	

今月のひとさら



うま辛で癖になる！

～手作りキムチ～



今月の担当：栄養士 杉村 瑞都

今年は葉物野菜のお値段が高い様子が見られます。せっかく1玉買ったのに使い切れない…そんな時はキムチにアレンジするのはいかがでしょうか！辛い物（カブサイシン）は食欲増進・体温上昇・疲労回復の効果があります！

＜材料 1人分＞

- ・白菜…2枚
- ・塩…小さじ1
- ★キムチの素…大さじ1
- ★砂糖…小さじ1/2～1
- ★ごま油…小さじ1
- ★すりおろしにんにく…小さじ1/2



＜作り方＞

- ①白菜をよく洗い5cm幅のざく切りにする
- ②白菜に塩をまぶし、全体を混ぜたら1時間ほど置く
- ③★の調味料を混ぜておく
- ④白菜をよく洗い、③の調味料と和えて漬けておく（1晩置くとしっかり漬かります）

vol.57 / 2月号
発行/地域医療連携室
後援/せたな町



病院公式SNSも
ご登録ください😊



自宅で受けられ介護サービスについて

訪問介護	自宅にホームヘルパーが訪問し、食事や排泄の介助、家事の支援、通院の介助などを行います。
訪問看護	看護師などが自宅に訪問し、病状に合わせた療養上のお世話や診療の補助を行います。
訪問リハビリ	専門職が自宅に訪問し医師の指示により日常の生活環境に合わせたりハビリを行います。
デイサービス	送迎があり、日帰りで施設に行き、地域の方との交流や食事、入浴等の必要な支援を行います。
通所リハビリテーション	送迎があり、病院等で医師によるリハビリを行い身体機能の維持や回復を目指します。口腔機能や、栄養改善についても行います。
ショートステイ	短期間施設に滞在しながら日常生活の支援や訓練を行います。
福祉用具貸与・購入	自立を助けるための福祉用具の貸与(レンタル)・販売を行います。
住宅改修	手すりの取り付けや段差の解消等の住宅改修を行います。支給限度額が決まっていて所得によって1~3割の自己負担で改修できます。

当院で受けられ介護サービスについて



通所リハビリテーション

・リハビリ専門スタッフが身体機能の評価を行い、一人一人違う完全個別の運動プログラムを作成し筋力や体力身体機能を維持・回復させることを目的としています。口腔機能の訓練や健康面の相談なども行います。ご自宅まで送迎し院内の訓練室でリハビリを行います。歩いてリハビリに来ることが不安な方でもご利用いただけます

訪問リハビリテーション

・リハビリ専門スタッフがご自宅に訪問し実際の生活環境でリハビリを行います。少しでも長くご自宅での生活を続けられるよう、ご家族への介助指導も行っています。

【道南ロイヤル病院 居宅介護支援事業所】は、病院から退院した後の生活が心配…現在ご自宅での生活に心配や困りごとがある…介護申請の事などわからない…などさまざまご相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。

直通TEL 0137-83-8023



豆知識 レントゲン撮影で骨折は絶対に見つけられるの？

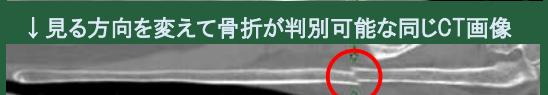
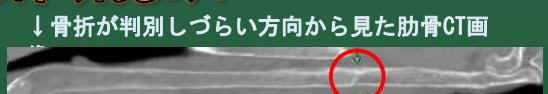
先に言ってしまいますが、答えはNOです。

レントゲン撮影では、ある一方から見た部分のみを画像にするため、骨が損傷している部分が、ちょうど写らなければ骨折を認識するのが難しいことがあります。このような時に役立つのがCT撮影です。

CT撮影では、あらゆる方向から見た画像を任意に作り出せるため、骨のスレ(損傷部分)が見えるように画像を調整することができます。

一部の不顕性骨折(骨にほとんどスレ・欠けが無くCTでも発見できない骨折)はMRIでしか診断できない場合があります。

小さなスレや欠けなどが発生している場合は、ほとんどがCTで診断できます。さらに、当院のCTでは肋骨の骨折をより見やすくなるツールがありますので、肋骨の痛みが続くような時は、ぜひ当院のCT撮影をお試しください。



↓ すべての肋骨を一直線に見ることもできます！

